



平田町自主防災会が 防災訓練を実施

■6月26日、平田町自主防災会が、妙見センターで自主訓練を実施し、地域住民等42名が参加しました。訓練後は鹿児島県地域防災アドバイザーの福崎純孝先生の講話や、避難所運営マニュアルの作成を行いました。



今年も水難事故が 起きませんように

■水難事故への注意喚起と水の恵みに感謝する行事「水神講」が、7月2日に山下公民館で行われました。公民館での神事後、参加した子どもたちは、今年も水難事故が起きないように、地域の井戸や花渡川でお参りをしました。



それぞれ の思いを 力強く発表

■枕崎市中学校弁論大会が7月1日、市民会館で開催され、市内各中学校の代表8名が発表しました。今年も枕崎市中学生徒連盟が中心となって司会・進行、あいさつ、審査等を行いました。



身近な川にはどんな生き物がある？

■7月8日、桜山小学校5年生が、鹿児島県水産技術開発センターの協力で花渡川に沈めた石倉に何が生息しているかを調査する特別授業がありました。九州大学特任教授の望岡さんの講話もあり、ウナギの生態についても学びました。



①写真左から中本さん、石原さん、水川さん
②写真左から2番目立石さん、左から3番目安永さん

鹿児島水産高校生九州・全国の舞台へ ～5部門での結果報告と意気込みを胸に市長に表敬訪問

6月23日と7月15日、鹿児島水産高校の生徒らが市長を訪問し、各部門での大会結果報告と次の舞台への意気込みを語りました。各生徒の報告は次のとおりです。

中本周希さん(カッター部主将)：九州地区水産・海洋高等学校カッターレース大会準優勝(全国大会出場)、石原大洋さん：県総体柔道男子66kg級優勝(九州・全国大会出場)、水川南海さん：県総体弓道男子個人戦4位(九州大会出場)、立石夏女さん：県揮毫大会(書道)高文連賞(全国総合文化祭出場)、安永仁さん：九州地区水産・海洋高等学校産業教育意見・体験発表優秀賞(第2位)
各生徒のますますの活躍を期待しています。



つながる命の営みを感じて ～鹿児島水産高校で水中写真家中村征夫さんが講演

7月11日、鹿児島水産高校で水中写真家中村征夫さんが海洋科の生徒を対象に「ダイビングを通して感じる海洋環境の変化」と題して講演を行いました。

温暖化などの環境問題や生態系の変化によって、死にゆく珊瑚や姿が見られなくなった生き物など、海の中の状況を目の当たりにしてきた経験からのメッセージに、海に関わる仕事を志す生徒達は真剣に聞き入っていました。

南浜館では9月4日まで中村征夫写真展「海への旅」を開催中です。8月28日にはギャラリートークも予定していますのでぜひお越しください。



大人も子どもも！夏まつりに笑顔きらめく ～「はまらん海」夏まつりIZAKAYA屋台村を開催

7月16日～18日および23・24日に南薩地域地場産業振興センター駐車場で「はまらん海」夏まつりまくらぎIZAKAYA屋台村が開催されました。

市内の居酒屋を中心とした実行委員会が主催した5日間の夏祭りでは、パドルボートなど子供が楽しめるアトラクションやダンス、火之神乙女太鼓「爽」の演奏に会場は大いに盛り上がっていました。また、ラーメン&ギョーザフェスタやカレーフェスタ、ピアガーデンに市内外の店舗が出店し、自慢の味を届けました。17日と23日には花火も上がり、多くの人で賑わっていました。



教えて！かつお節ができるまで ～立神小学校で地元工場が特別授業の先生に

7月13日、立神小学校3年生が地元企業である株式会社田畑薩男商店の田畑洋一さんを講師に、鰹節ができるまでを学びました。かつおの人形を、さまざまな形の包丁の模型でさばく様子を実演するなど分かりやすく伝えていました。

授業を受けた前田杏子さんは「かつおのことがいっぱい知れてよかったです」と話しました。



共生・協働の地域社会づくりのモデルへ ～田布川公民館がなんさつ地域づくり活動表彰

7月14日、田布川公民館が第4回なんさつ地域づくり活動表彰を受けました。

少子高齢化による遊休農地の増加や伝統行事・郷土芸能の後継者不足などのさまざまな地域課題に対する、地域での話し合い活動を通じた地域コミュニティやNPOなどの多様な主体と連携した課題解決への取り組みが評価されたものです。